

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、**県内への誘客を促進し、観光産業を振興**します。



県内宿泊客増加に向けた 観光の振興

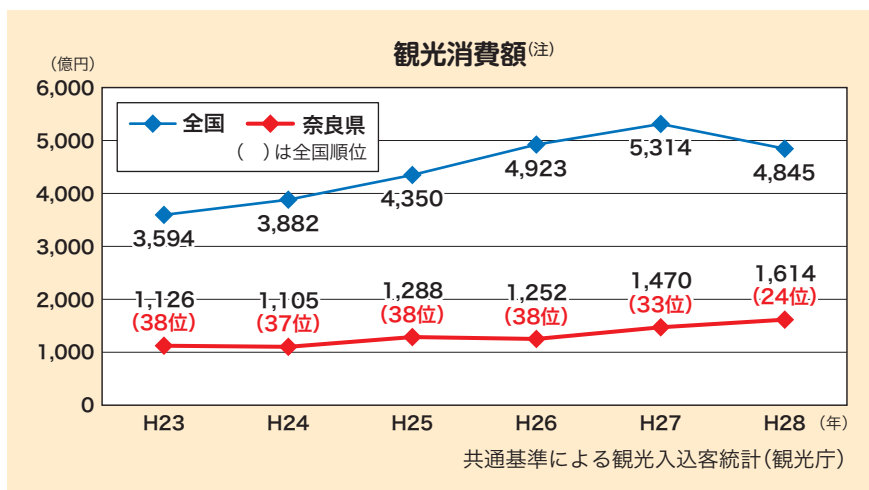
主担当部局：観光局



奈良大立山まつり(平城宮跡)

目指す姿

平成31(2019)年までに、**観光消費額を1,900億円**にします。

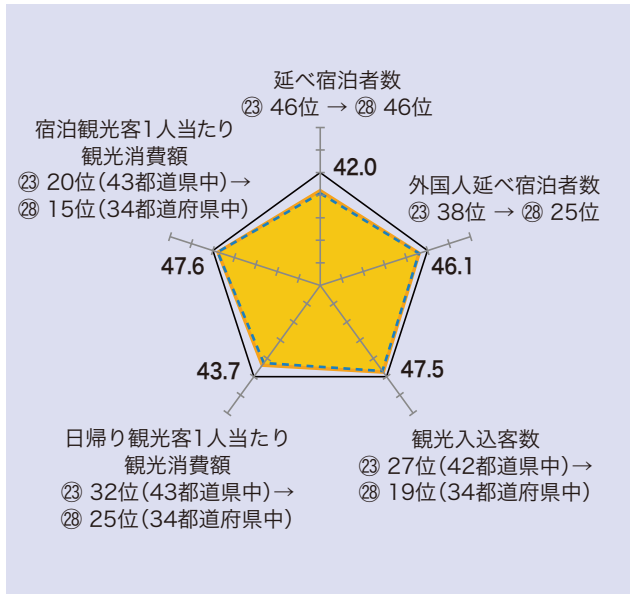


(注) 都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数が異なります。

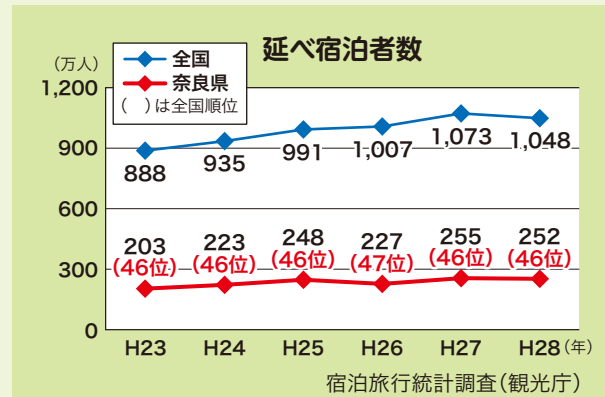
H23：43都道府県
H24：43都道府県
H25：44都道府県
H26：43都道府県
H27：41都道府県
H28：34都道府県
(平成30年1月末時点)

目指す姿を達成するための取組状況

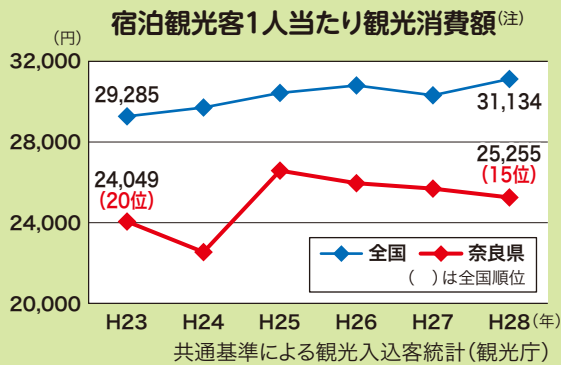
● 現状



● トレンド

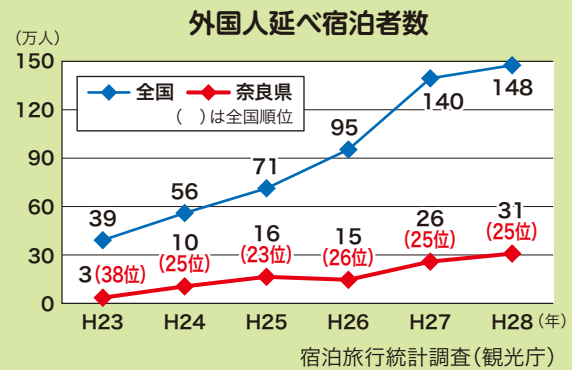


オフシーズン対策等の取組により、延べ宿泊者数は増加しましたが、依然として全国順位は低い状況です。

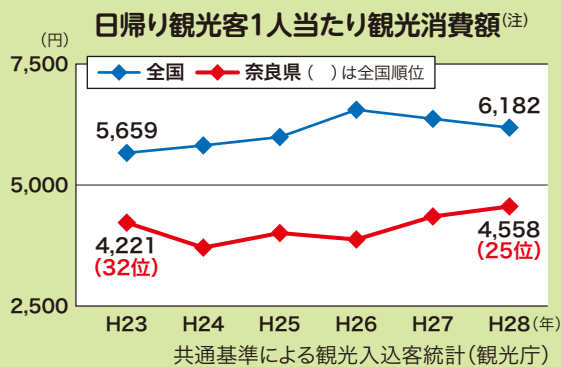


(注)平成30年1月末時点

「食」「宿泊」「土産物」等の充実の取組により、宿泊観光客1人当たり観光消費額は、平成23年に比べ増加しています。

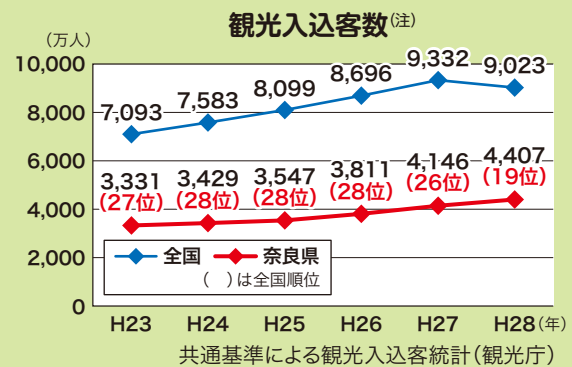


海外プロモーション活動を強化したこと等により、外国人延べ宿泊者数は大幅に増加し、全国順位も上昇しました。



(注)平成30年1月末時点

「食」「土産物」等の充実の取組により、日帰り観光客1人当たり観光消費額は徐々に増加しています。



(注)平成30年1月末時点

プロモーションの取組、受入環境の整備等により、観光入込客数は増加しています。



戦略 1

意欲ある宿泊施設の取組を支援するとともに、誘致に向けた取組を強化し、**宿泊施設の質と量を充実させます。**(宿泊施設キャパシティの向上)
主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

延べ宿泊者数

227万人
平成26(2014)年



目標
280万人
平成31(2019)年

県内宿泊施設の客室数

9,051室
平成27(2015)年度



目標
10,200室
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
多様な宿泊施設の創出と宿泊施設の新たな魅力づくりへの総合的支援	融資制度等による創業・設備充実支援		
良質な宿泊サービスの普及促進	開業支援、登録事業者への指導監督等		
外国人対応宿泊施設の運営	奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)の運営		
大宮通り新ホテル・交流拠点の整備	交流拠点の整備工事		● 開業 にぎわいの創出



奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)での日本文化体験



交流拠点に隣接するJWマリオットホテル奈良(イメージ)

戦略 2

外国人観光客の受入環境の整備を進めるとともに、「食」「宿泊」「土産物」についての観光客の満足度の向上を促します。(滞在の快適性・ホスピタリティの向上)

主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

宿泊観光客1人当たり観光消費額

25,683円
平成27(2015)年



28,000円
平成31(2019)年

日帰り観光客1人当たり観光消費額

4,346円
平成27(2015)年



5,000円
平成31(2019)年

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
外国人観光客向けの受入・おもてなし環境の整備	多言語コールセンターの運営、クレジットカードが使える環境の整備促進、宿泊施設等へのWi-Fiスポットの設置促進		
	サービス向上のノウハウを事業者者にフィードバック、観光サービス向上委員会の運営		
「食」「宿泊」「土産物」の満足度の向上	奈良フードフェスティバルの開催、南部地域・東部地域におけるオーベルジュの整備支援、県産材を利用した土産物等の販売等		
案内力・説明力の向上	地域通訳案内士の育成		



奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)での案内対応



奈良フードフェスティバル(奈良市)



戦略 3

歴史文化資源を活用した観光資源の開発に取り組み、奈良の魅力をもっと一層向上させます。(観光資源の充実) 主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

観光入込客数

4,407万人
平成28(2016)年

目標

5,000万人
平成31(2019)年

南部地域・東部地域の交流人口 (観光入込客数)

666万人
平成25(2013)年

目標

830万人
平成32(2020)年

平城宮跡内で開催されるイベントの来場者数

128千人
平成23(2011)年度

目標

138千人
平成30(2018)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
ジャポニスム2018を契機とした奈良の魅力の発信	海外イベントへの出展、奈良の歴史文化の重点的なプロモーション <small>ジャポニスム2018・仏像展示(パリ) ● 仏像展示(ロンドン)</small>		
歴史文化資源を活かした観光地の魅力づくり	飛鳥京・藤原宮跡の魅力向上、吉野町・天川村・十津川村と連携した滞在の魅力づくり		
奈良盆地周遊型ウォークルートの造成	ウォークルートの造成、案内サインの整備、ホームページ等による広報等		
大宮通りプロジェクト	(仮称)登大路バスターミナル、吉城園周辺・高畑町裁判所跡地の整備等		
	大宮通り新ホテル・交流拠点の整備工事	● 開業	にぎわいの創出
	平城宮跡歴史公園の整備と利活用推進		
	近鉄奈良駅周辺・大宮通りのおもてなし環境整備		



平城京天平祭(春)(平城宮跡)



大宮通りの修景整備

戦略 4

オフシーズンの宿泊観光客を増やすため、イベントをさらに発展・充実させるとともに、新たな冬の周遊型観光の展開を図りながら、観光消費に繋がる誘客を促進します。(楽しい奈良の実現) 主担当課：観光局 観光プロモーション課

戦略目標

オフシーズン(12月~2月、6月・7月)
延べ宿泊者数

73万人
平成26(2014)年



目標
105万人
平成31(2019)年

「うまし奈良めぐり」商品販売人数

3,458人
平成27(2015)年度



目標
9,800人
平成31(2019)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
オフシーズンにおける誘客促進	夏季・冬季誘客イベントの開催、 県内版ディスティネーション(年1回・冬)の開催		
奈良だからこそできる音楽祭の開催	「ミュージックフェストなら」の開催		
スポーツツーリズムの推進	奈良マラソン開催に関する情報発信の強化、 参加者への観光情報の発信		
魅力ある体験メニューの充実	「うまし奈良めぐり」の商品造成、 社寺の特別公開等(「祈りの回廊」)の充実		



冬季誘客イベント(なら瑠璃絵)



夏季誘客イベント(なら燈花会)



戦略 5

インバウンド誘客の地力をつけることを中心に、観光誘客の強化・県域全体への周遊・滞在型観光の推進に取り組みます。(誘客のためのプロモーション)

担当当課：観光局 観光プロモーション課

戦略目標

外国人訪問客数

165万人
平成28(2016)年

目標

240万人
平成31(2019)年

外国人延べ宿泊者数

31万人
平成28(2016)年

目標

45万人
平成31(2019)年

国際コンベンション開催件数

30件
平成24(2012)年度

目標

75件
平成31(2019)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
官民一体となった外国人観光客の誘致	海外観光プロモーター・旅行商品コーディネーターとの連携実施		
首都圏を中心とした誘客の促進	主要駅等で奈良の魅力の効果的な情報発信、奈良県観光キャンペーンの開催(年2回(春・秋))		
積極的なMICE誘致の推進	奈良県国際会議・国内会議誘致推進本部による国際会議等の誘致		
インバウンド観光戦略ビジョンの策定・実現に向けた取組	ビジョン策定に向けた検討	● ビジョンの策定	ビジョン実現に向けた取組



フランス人モニターツアー(社寺の拝観)



奈良県を訪れた外国人観光客(奈良市)



ぐれーとさまあーふえずた ならまち遊歩(奈良市)



奈良大立山まつりの伝統行事の披露(平城宮跡)



若草山焼き(奈良市)

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。



質の高いイベントの実施と 県の文化力の向上

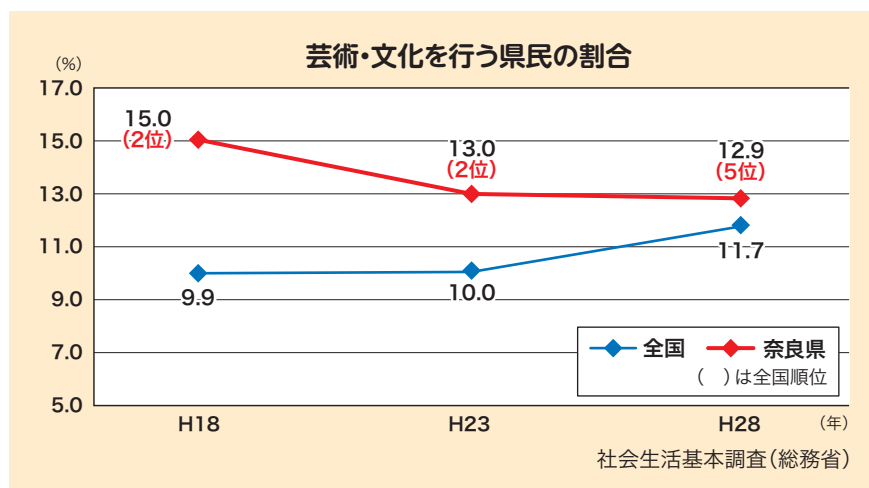
主担当部局：地域振興部



ミュージックフェストなら 2017(奈良公園・春日野園地)

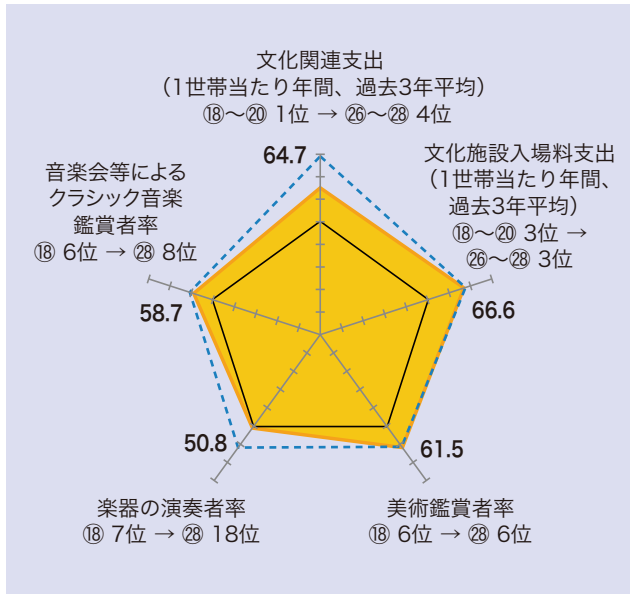
目指す姿

平成33(2021)年度までに、**芸術・文化を行う県民の割合**を**全国1位**にします。

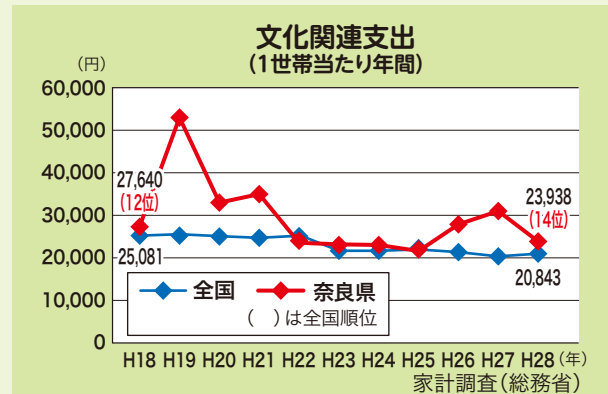


目指す姿を達成するための取組状況

● 現状

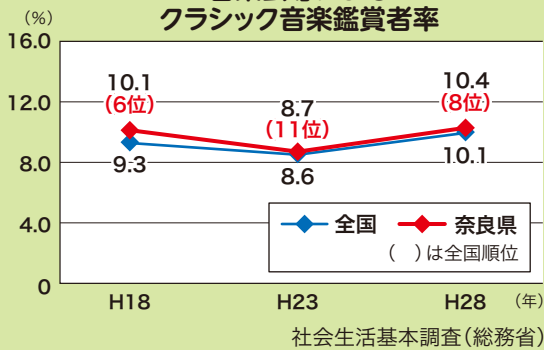


● トレンド



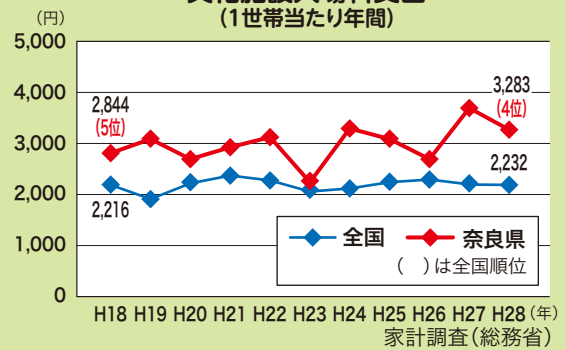
文化関連支出(1世帯当たり年間)は、平成18年と比較して3,702円減少していますが、全国平均を上回っています。

音楽会等によるクラシック音楽鑑賞者率



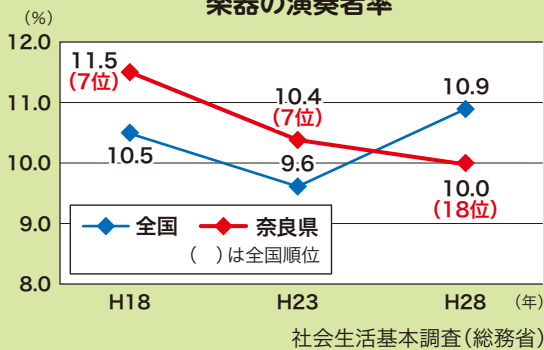
音楽会等によるクラシック音楽鑑賞者率は、平成18年と比較して0.3ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。

文化施設入場料支出



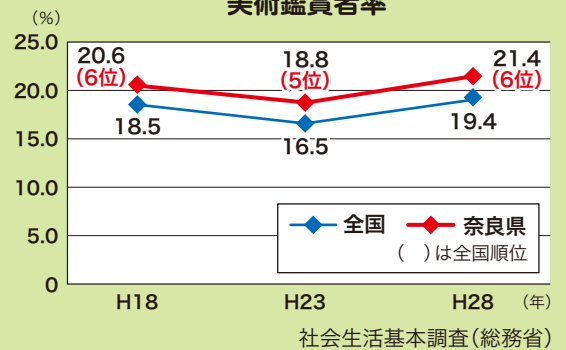
文化施設入場料支出(1世帯当たり年間)は、平成18年と比較して439円増加しており、全国平均を大きく上回っています。

楽器の演奏者率



楽器の演奏者率は、平成18年と比較して1.5ポイント低下しており、全国平均を下回っています。

美術鑑賞者率



美術鑑賞者率は、平成18年と比較して0.8ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



戦略 1

文化芸術への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

主担当課：地域振興部 文化振興課

戦略目標

奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭のイベント数

808催事
平成29(2017)年度

目標

800催事
以上を維持
平成33(2021)年度

県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の周知度

21.9%
平成26(2014)年度

目標

55%以上
平成33(2021)年度

県民アンケートにおける文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合

49%
平成28(2016)年度

目標

55%
平成33(2021)年度

県民アンケートにおける観光やレクリエーションのために県内各地を訪問する目的を「美術鑑賞・展覧会等、演劇・コンサート鑑賞」とする県民の割合

11.1%
平成28(2016)年度

目標

15%以上
平成33(2021)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭の一体開催	障害の有無にかかわらず、互いに交流を深め、共に楽しめるイベントの開催		
「ムジークフェストなら」の開催	社寺等の歴史文化遺産を会場にクラシックコンサートを中心とした音楽イベントの開催		
県立ジュニアオーケストラ活動の充実	クリスマスコンサート・定期演奏会での演奏の実施		
県立美術館特別展の開催	「万匠の郷」等の開催	魅力的な特別展の実施	



第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会「共創の音楽劇」(奈良市)



ムジークフェストなら2017(吉野町・金峯山寺蔵王堂)

戦略 2

歴史を通して、県民の文化への理解を深めます。

主担当課：地域振興部 文化資源活用課

戦略目標

県立文化施設の来訪者数

1,318千人
平成25(2013)年度

目標
→ 1,355千人
平成31(2019)年度

県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度

3.58ポイント
平成28(2016)年度

目標
→ 3.5ポイント
以上を維持
平成33(2021)年度

県民アンケートにおいて、住みたい理由を「世界遺産や文化財が多く、歴史的な雰囲気を感じるから」とする県民の割合

35.9%
平成28(2016)年度

目標
→ 40%
平成33(2021)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
県立歴史関連施設を核とした施策の展開	歴史文化にとどまらず、芸術文化を含めた効果的な歴史・文化の発信手法の確立		日本書紀完成1300年を記念する展示等の実施
記紀・万葉プロジェクトの推進		記紀関連の講演会、「古事記のまつり」の開催等	なら記紀・万葉日本書紀完成1300年記念イベントの開催等による情報発信
奈良の仏像海外展示の実施		奈良の歴史・文化に対する国際的認知度向上に向けた取組の実施 ● 展覧会(パリ)開催 ● 展覧会(ロンドン)開催	
歴史文化資源を核とした文化芸術振興の拠点の整備	調査・設計等	建築工事等	



古事記のまつり「かるた大会」(奈良市)



(仮称)奈良県国際芸術家村(イメージ)